

「小学校教科担任制の導入」に係る提案授業，行われる！

7月5日(火)，水戸市立新荘小学校を会場に，今年度の新規事業，小学校理科教育推進事業の一つ「小学校教科担任制の導入」に係る提案授業が行われました。『科学技術創造立県』を謳う本県にとって，理科教育の振興は必要不可欠であり，児童生徒の科学や自然に対する興味・関心を高めるには，何よりも「理科授業の質の向上」が重要になります。

今回の提案授業は，事業の重要性に鑑み，全県レベルでの実施となり，当日は，水戸教育事務所の 松島正人 指導主事が，新荘小の6年1組において，「月と太陽」の単元(全9時間)，第1時の授業を行いました。子どもたちが意欲的に学習に取り組み，教師の問いかけに機敏に反応してくれたこともあって授業はスムーズに流れ，授業後の全体協議も，今後の授業づくりに生きる大変有意義なものとなりました。



【 授業内容について 】

学 習 活 動 ・ 内 容	教師の働きかけ(・)と児童の様子(○)
<p>1 本時の学習課題をつかみ，学習の見通しを立てる。</p> <p>「蕪村」の見た月は…？</p> <ul style="list-style-type: none"> 蕪村の俳句から，月の様子を考える 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科や国語科での先行学習を踏まえ，江戸時代の俳人「与謝蕪村」の俳句『菜の花や 月は東に 日は西に』をもとに，課題について考えるようにする。 ○場面を想像しやすい俳句であることから，子どもの反応はよかった。 ・俳句から想像される風景について，特に月の様子に焦点を当てスケッチさせるようにする。 ○月の形や色をあまり考えずに想像で描いていたが，学習が進むにつれて科学的な見方や考え方をもって描くようになってきた。 ・描いたスケッチと演示実験をもとに，予想した月の形を話し合う。 ○演示実験は，子どもが見た位置によってやや理解が異なったようであるが，話し合いは活発に行われた。 ・理由を明らかにして予想した月の形を発表し合う。 ○演示実験で分かったことを生かし，スケッチを修正するなどして自分の考えをまとめ，各グループから1名ずつ発表した。 ・児童の発表をもとに学習をまとめ，以後の学習へ興味・関心をもたせるようにする。
<p>2 予想した月の様子をスケッチし，発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時刻 ・ 天気 月 (色・位置・形・大きさ) 太陽 (色・位置・形・大きさ) 	
<p>3 予想した形である理由について話し合う。</p> <p>①三日月 ②半月 ③満月 ④形は決まらない</p>	
<p>4 グループごとに予想した理由を発表する。</p>	
<p>5 本時の学習のまとめをし，学習内容を振り返り，次時の学習内容を知る。</p> <p>「蕪村」の見た月の形は， () と予想できる。</p>	

【 授業後の全体協議 】

義務教育課の 大貫弘敏 指導主事の司会で，授業に関する質疑の後，教材の工夫，児童の変容，教師の発問等の視点で，協議が行われました。

◇俳句により，月と太陽の位置関係など場面を自然に考えることができたのではないかな。

△「月の形に答えがあるのか」という子どもの発言から問題解決への意欲が高まったので，演示実験を行い，子ども自身に確認させるようにした。

△月の形は，太陽と月の位置が関係していることに気付かせ，次時以降の学習につなぎたいと考えた。

◇子どもの興味・関心を持続させるには，教師が多くを語らず，物や現象で語る事が大切ではないかな。など，授業者と参会者の間で多くの貴重な考えや意見が交わされました。

